

只木ゼミ夏合宿第3問検察反対尋問レジュメ

文責:4班

I. 反対尋問

- 5 1. 弁護レジュメ1頁20行目の「消極的身分犯」の場合の例を具体的に示せ。
2. 弁護レジュメ1頁32行目に「真正身分犯においては、非身分者の行為は実行行為としての類型を欠き、共同して犯罪を実行したとは言い難く共同実行そのものを観念し得ない」とあるが、非身分者であっても身分者を通じて法益侵害結果を惹起できるため、共同行為を観念することができるのではないか。
- 10 3. B説(否定説)において、共同正犯の成立は否定するにも関わらず、教唆犯の成立を認めている根拠は何か。
4. B説(否定説)において、「真正身分犯の処罰根拠を～」としているが、不真正身分犯の処罰根拠は何であると考えているのか。

以上